

様式第 42 (第 62 条の 5 の 2 関係)

休止中の地下貯蔵タンク又は二重殻タンクの漏れの点検期間延長申請書

〇〇年〇〇月〇〇日			
とちぎ広域消防事務組合長 殿			
申 請 者			
住 所 〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 (電話〇〇-〇〇〇〇)			
氏 名 〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇 ⑩			
設 置 者	住 所	〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 電話〇〇-〇〇〇〇	
	氏 名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇	
設 置 場 所		〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号	
製 造 所 等 の 別		貯蔵所	貯蔵所又は取扱所の区分 地下タンク貯蔵所
設 置 の 許 可 年 月 日 及 び 許 可 番 号		〇〇年〇〇月〇〇日 第 〇〇 号	
設 置 の 完 成 検 査 年 月 日 及 び 完 成 検 査 番 号		〇〇年〇〇月〇〇日 第 〇〇 号	
タ ン ク の 種 類		鋼製一重殻タンク	対象となる地下貯蔵タンク又は二重殻タンク <u>3KLタンク1基</u> ※区画内に設けられた漏洩検査管により週1回以上漏れの確認をしている
当該地下タンク貯蔵所又は二重殻タンク ※タンク室等の区画が設けられている		〇 年 〇 月 〇 日	
危険物の漏れを覚知しその漏れい拡散を防止するための措置の有無		告示第 71 条第 4 項第 1 号イ又はロに掲げる措置 (有・無) 告示第 71 条第 4 項第 2 号に掲げる措置 (有・無) 平成 15 年総務省令第 143 号附則第 3 項に掲げる措置 (有・無)	
直近の漏れの点検を行なった年月日		〇〇年〇〇月〇〇日 ※100分の1の精度で在庫管理を行い週に1回以上漏れの確認をしている	
期 間 延 長 後 の 漏 れ の 点 検 予 定期 日		危険物の貯蔵を再開する日の前日まで	
そ の 他 参 考 と な る 事 項		<ul style="list-style-type: none"> ・当該タンクの流出防止措置又は廃止検討のため一時的に休止するもの。 ・タンク内の残存危険物を全て抜き取るとともに、清掃により完全に除去する。 ・注入口（蓋）の施錠及び休止中である旨の表示をする。 ・使用再開時には、漏れの点検を実施し、その結果を休止中の屋外タンク貯蔵所等の再開届出書に添付し提出する。 	
※ 受 付 欄		備 考	
		<u>※漏洩検査管により週に1回以上漏れの確認をして、100分の1の精度で在庫管理を行い、週に1回以上漏れを確認し、漏洩時の計画書を消防に届けている。又は漏洩検査管により週に1回以上漏れの確認をして、電気防食等の措置がされている。</u>	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 JIS S 5037 に従って製する。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事業所の所在地を記入すること。
- 3 告示は、危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示（昭和 49 年自治省告示第 99 号）とすること。
- 4 ※印の欄は記入しないこと。